



栄えあるアワード受賞 2007 ~2008年度

THE JINZU L I O N

富山神通ライオンズクラブ会報
発行所/富山市桜木町10-10 富山第一ホテル5F 富山神通LCPR委員会

69
2008
7月号
7月3日発行

一年間の成果



- ◆ガバナー大賞——ライオンズクエスト活動賞
- ◆ガバナー賞——LCIF推進賞
- ◆ガバナー感謝状——CSF モデルクラブ達成賞
- ◆ガバナー感謝状——YE活動賞

第54回三三四-D地区年次大会

神通ライオンズクラブスローガン
「高めよう神通の
奉仕の心と和の絆」

会長挨拶

一年の任期を終えて

富山神通ライオンズクラブ
会長 L 廣田 勉

2007年度、歴史と伝統ある富山神通ライオンズクラブ三十九代会長を拝命し、身に余る光栄であり、この一年間、クラブの皆様や関係各位のご協力やご支援によって、大過なく当初の思いを实践できたことに心から感謝申し上げます。今年度は、マヘンドラ・アマラスリヤ国際会長がプログラム「変化への挑戦」を提唱され、富山神通ライオンズクラブとしては、地区の重点項目（1 ライオンズクエストの普及と実践、2 自然環境保護と資源の有効利用を促進する、3 CSFの推進、4 団塊の世代の人々の参加）に沿って事業を計画・実践してまいりました。

青少年健全育成事業は、「見つめ直そう!暮らしと環境 いま昔」を市内小中学生、レオクラブの参加のもと、ごみの最終処分場、緑地公園、北代遺跡を訪ね、子どもたちに今日の環境問題を考えてもらう良い機会になりました。

また、ライオンズクエストの推進として、モデル校の水橋中学校への支援、「39ありがとう」ふれあいキャンペーンの実施、CSFの献金、楽しい例会づくり、ITの活用、ホームページの充実など、これまでに多くの取り組みを实践できたと感謝申し上げます。先の地区年次大会では、ライオンズクエストガバナー大賞をはじめ4つの賞をいただくことができ、この1年間の会員の皆様の活動の証であると感じております。おわりに、支えていただいた幹事・会計、LT、TT、各委員長の皆様に心からの御礼を申し上げます。任期終了のご挨拶といたします。「ありがとうございました」ございました。

「一年を終えて」

幹事 L金谷 正治



昨年の7月1日より伝統ある富

山神通ライオンズクラブの幹事をさせて頂き、早いもので一年の月日が経過いたしました。この間クラブの運営及びアクティビティにおいては、会員の皆様との絶大なご協力とご支援により何とか幹事としての任務を終える事ができました。そして結果としてガバナード大賞という名誉あるアワードを頂きこんな嬉しいことは有りません。これからもライオンズマンとしてウィ・サーブの精神を持ち続け、社会のために何ができるのかを考えていきたいと思っています。一年間本当にありがとうございました。



市役所教育委員会訪問

「任期を終えて」

会計 L吉本 篤司



32周年・L大川内会長の時に入会（再入会）させて頂き、この会報誌が発行される頃には8回目の「年次例会」

を終えている筈です。単年度制のライオンズでは必ずと云って良い程、この時期に「丸の出港」・「丸の帰港」を例えに新旧の会長が船や船長に見立てられ反省や抱負を語られます。入会間もない頃は、毎年繰返される変な例話に「又か...」・「一体、何処に出港?」と感じ、数年経過した頃には「幹事は何役?」・「会計は...?」と。会長・幹事を一心同体の「夫婦」と例える話もあります。その場合、会計は「舅・姑・小姑?」。役処は「兔も角、今年度は間違い無く「廣田丸」に乗船し、多数の艦長と共に巨大船で航海をして参りました。地球の裏側まで航海した様な気もしますし、富山湾一周のクルーズだった様な気もします。廣田会長の心強いリーダーシップと協調性を重んずる金谷幹事のお陰で無事39周年(Thank you39)を終える事が出来ました。大型タンカーは、エンジンを切っても停船まで30分かかり8キロも進んで仕舞うそうです。やっぱり着岸出来る様、最後の「一仕事endするまで」を引き締めます。「終わり良ければ全て良し。」有難う御座いました。

1/10

新年例会 於金茶寮

例会



還暦を迎えられた方々



L小山、L小川、L吉田、L浅井、L前川、L北岡の各氏

「一年の感謝」

T・T L森田 忠雄

私は、クラブ会長を終わって、その後、ZZCが輩出されていたので、ZZの会員(MERL)委員長、そして1RCとして活動してまいりました。昨年6月に廣田会長からぜひT・Tを担当するよう拝命をうけ、恥ずかしい結果にならなければ良いかと期待に添えるようがんばってきました。クラブメンバーが多いのと、皆さんの積極的なご理解、ご協力を頂き、予定通りのドネーションを頂いたことに感謝申し上げます。

「一年間の活動を終えて」

計画委員長 L矢郷 允康

今期、廣田会長、金谷幹事、吉本会計の指導のもと、又会員皆様方の御協力により一年間の計画が問題なく遂行されました事を感謝申し上げます。又、前期の計画委員長 林一博ライオンには大変忙しい中、安いコーヒ一杯で仕事の内容を、御教授して戴きありがとうございました。大変参考になりました。一年間大変ありがとうございました。



1/17

例会



「ありがとう」を言葉で

CN委員長 L淵野 弘光

最近、ITの発達で、子供達迄メールでのやりとり、学校でも家族間でも言葉での伝達が希薄になってしまった。今回、CN 39周年を機会に、サンキユウ「有難う」の言葉を交わそうキャンペーンポスター、好評であり、LCもこうした事業も大切であり、神通LCのPRとしても大いに役立つように思う。

五月八日のCN記念会でも「有難う」をテーマに厳肅な中にも和やかに、全員参加型の懇談会を狙った。久方ぶりにLLの方々の余興参加もあり、大いに盛り上がり楽しい集いで、来年の四十周年に向けGO!GO! 皆さんのご協力ありがとうございます。サンキユウ。

認証39周年

「ありがとう」ポスター



「三十九周年をふりかえって」

会則・付則委員長 L山田 清治

会則・付則委員長をうけて、今年度新入会員オリエンテーションを3回行いました。

1時間の間にライオンズの全貌を理解してもらうのは大変なので、90年前になぜライオンズクラブが出来ることになったのか、そしてその目的が時代と共に変化をしてきたのかをクラブ必携の中で説明した。その他のライオンズの組織、規則、用語等については、例会出席、アクティビティ参加した中から、疑問点は質問してほしいということであったが何もありませんでした。これはレクチャーのしかた、時間を考え直さねばならないのか、以前行ったように再度入会2・3年のメンバーに対するオリエンテーションを行わないといけないのか今後考える事だとも思います。

私は入会して30年程になりますが、日本のライオンズクラブは現在三千四百程のクラブ数、十一万九千人程のクラブ員が縦割りの組織で統一して地域に融合するべく行動し、啓発を喚起するべきところ、近年時の変化を意識しない形骸化したアクティビティ、又用語の遊び等が目立ち、再度ライオンズクラブの原点をひもどかないとクラブのサスナナビリティが立ちいかなないように思われます。

委員会としては神通クラブ例規の派遣費の改訂を行いました。

5/8

CN 39周年記念例会



5/16

盲学校生徒 サツマイモ苗植え



北日本新聞 5月17日)に掲載されました

豊作願い農作業

サツマイモ 苗植え体験

農作業を通して収穫の喜びを味わってもらおうと、富士神通ライオンズクラブ(山田伸也会長)は16日、富士市桑原の岡本武勇さん宅の畑に県立盲学校幼稚園と小学部の子どもたちを招き、サツマイモの苗を植えた。児童らは土の感触を覚えるなど苗植えを体験した。

幼稚園、小学部の九人と教職員二十二人が訪れ、同クラブからは十四人が参加した。子どもたちは岡本さんと同クラブメンバーから「苗の真ん中に畝くしをかがせて」などと教わりながら苗を植えた。サツマイモは岡本さんが管理し、九月上旬に子どもたちが収穫作業を体験する。小学部二年の山崎君は「土が温かくて気持ち良かった。秋が待ち遠しい」と話していた。



「1年間の活動を終えて」

ソングリーダー L甚内 忠義

廣田会長より大役をいただきながら家内の事で例会を欠席がちとなり申し訳ございませんでした。その中でサンキュー三十九周年チャーターナイトでは司会を務めさせて頂きました。その際、会長、五役の方々のパフォーマンス、ライオンレディのバタパタママ、また本間さんの一人二役のお芝居などでパーティーを盛り上げて頂きました。楽しい心暖まる時間を過ごす事ができました。心よりお礼申し上げます。振り返れば、激動の一年ではございましたが、回りの方々のアドバイス、ご指導、励ましのお陰で何とか乗り切る事ができました。一年、本当に有難うございました。

今後も神通ライオンズクラブの一員として奉仕活動、社会貢献等に皆様と共に活動してまいりたいと考えております。最後になりましたが、会員の皆様のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。私のお礼の言葉とさせていただきます。

「1年間の活動を終えて」

市民奉仕委員長 L藤井 和夫

年度始め、何の事業を行えば市民の方々に喜んで頂けるか、又過去の委員長が何の事業を行われたのか、お聞きしながら、どう行えばよいのか迷いながらの一年でした。行ったことと言えば、青少年指導委員長の永井Lの「見つけ直そう！くらしと環境 いま昔」の事業の一角で子供達が四グループに別れ「地球温暖化防止」に対するグループ討議を行い、発表させることでした。

委員長として単独の事業を行えず、クラブ会員の方々にたいへんご迷惑をおかけしたと深く反省しています。

「1年間の活動を終えて」

YE委員長 L小川 博

本年度は冬季にマレーシアからの19歳の男性をホストいたしました。12月20日から28日まで、歳末のあわただしい中、ホストファミリーの森田忠雄ライオンはじめ、会長、幹事等クラブの皆さんに大変ご協力いただいたことを感謝いたしております。

次期もスロバキヤから夏季のYEを受け入れる予定とのこと、協力出来る事があれば何でも言ってお返し、出来るだけ協力いたします。

ライオンズの事業の柱の一つであるYE事業に少しでも貢献できたことに喜びを感じています。



3/16

献血運動呼びかけ



「1年間の活動を終えて」

四献糖尿病教育委員長 L高木 光男

1年間を振り返りますと、当委員会の役割の重要性を改めて認識させられると共に、反省ばかりが思い出されます。例えば献血活動では、シヨッピングセンターでの呼びかけ方法の工夫がもっと必要であった、エイズ予防キャンペーンでは大学生へもっと働きかけができたのではないかと、薬物乱用防止活動では講座受講を無駄にしているかと、更にはメタボリック対策も他人事ではない等々が浮かんできます。それでも無事1年間を終えることができます。また貴重な教訓を得ることもできました。皆様のご協力とご支援のお陰です。ありがとうございました。

引き続き、次年度でも大きく活動して頂く事を期待しております。

「1年間の活動を終えて」

ライオンズクエスト・青少年指導委員長 L永井 秀宗

この1年間LQ青少年指導委員長として活動して参りましたが、皆様に支えて頂き、何とか無事終えることができました事この場をお借りし御礼申し上げます。今期前半にメイン事業として「見つけ直そう！くらしと環境 いま昔」で環境問題を取り上げました。

後半では、水橋中学校でのライオンズクエスト（ライフスキル教育）を富山昭和ライオンズ様より引き継ぎました。キャビネットのご支援の元、水橋中学校の全教員が指導資格を取得した事により、モデル学校に認定され、この事で栄える「ガバナード賞」を頂戴する事になりました。しかし、どうも他人のふんどしで相撲を取ると言いますか、他のクラブが段取りをした事をただフォローをしただけで大した事もせずに賞を頂いたというのは複雑な心境です。どうせなら、メイン事業で賞を頂きたかったというのが本音のところでしょうか。

しかし、水橋中学校でのライフスキル教育自体は大変価値ある取り組みであり、継続させる事が大切です。学校側の期待や要望に応えるべくきちんと引き続きをし、次年度でも大きく活動して頂く事を期待しております。



6月17日
、
6月20日

韓国釜山
花郎ライオンズクラブ訪問



「釜山花郎LC」
CN三十周年に参加して」

第三副会長 L浦田 啓一

梅雨の候、よい天気恵まれフライトは揺れもなく、快適な一時間余りの旅でした。仁川空港に着き、専用バスでソウル駅へ行きKTXグリーン車にて釜山へ、駅では花郎LCの方が横断幕を持って出迎えていただき一人にチヨリップの花束をいただき大変に手厚い歓迎でした。私はやっぱり参加してよかったと思えました。夜八時にホテルバスで迎えに来ていただき日本料理松竹で歓迎夕食会が始まり、大変盛り上がり両クラブの友好がさらに深まりました。元ガバナーの董Lや日本語が少し話せる孫L、いろいろな方々に大変お世話になりました。

二日目はホテルを午前八時に出発して現代自動車工場を見学し、午後三時頃ホテルに戻り少休憩の後、午後七時より釜山花郎LC三十周年の記念式典に神通LCの正装で、全員拍手で迎えられ、入場しました。式典の中、廣田会長が韓国語で立派なスピーチをされました。LCの方々もうなづいて聞いておられ、四時間ほどの盛大な式典でした。

三日目はホテルよりバスで釜山駅へ行き、花郎LCの心からのお見送りとお土産をいただき、来年の釜山神通CN四十周年にお逢いすることを約束し固い握手で釜山駅を後にしました。釜山駅よりソウルへ向かう三時間程の車中は会話がとても弾みました。そして、ソウルロッテホテルに到着後、午後から免税店・デパートなどへお土産ツアーに出かけ、午後六時三十分頃、焼肉店で神通LC懇談会が開かれL堀井団長の御発声で乾杯し楽しい宴が始まり本場の焼肉を堪能しながら、明日への活力をつけました。最終日、早朝六時十五分ホテルを出発し、仁川空港午前九時五分釜山空港へ帰港に着きました。午前四時四十五分釜山空港に着き、各会員の家族が出迎える中、L堀井団長の発声で解散式が行われた後、家路につきました。今回の参加でお酒の飲めない私に大変心からの気遣いをしていただいた花郎LCの方々ははじめ、神通LCの方々に心より御礼を申し上げて次回もぜひ参加したいと思えます。ありがとうございました。

6/23

年次例会



「神通ライオンズクラブCN 40周年の会長を任命されて…」

四十代会長 L吉田 誠



私は、伝統有る神通ライオンズクラブに入会をして早くも25年がたちます。CN40周年会長の承認を受け、今これまで何気なく過ごしてきた25年を反省している今日この頃です。

今年度334D地区アクティビティ・スローガン「友愛と歓びの奉仕でつくる元気なひと、まちそしてみどり。」複合地区スローガン「温故知新」革新への挑戦、キーワードは、「智・仁・勇」富山神通ライオンズクラブスローガンは「奉仕と友愛で築こう未来につながる豊かな環境」としました。

今年度CN40周年事業として、スローガンにもある環境問題として、特に地球温暖化に関して早急な対策が必要とされている深刻な問題です。その二酸化炭素を抑制するには、私達ひとりひとりが身近な地域に目を向け、緑豊かな自然環境を育成保存していくことが重要ですのでCN40周年事業に取り込みたいと思います。

それから当時私が入会したとき、クラブ会員数が100名近くいたと思います。地区重点活動方針にもあるように、会員増強については、最低100名以上にしたいと思っておりますので、皆様のご協力お願いいたします。



「次期幹事に任命されて」

次期幹事 L若井 聡志



歴史ある富山神通ライオンズクラブCN40周年の記念する年に幹事を拝命頂き、光栄に感じております。

なにぶんにも経験浅く若輩ではございますが、吉田会長の下、しっかりと職務を遂行し周年に相応しい一年になりますよう鋭意専心全力を尽くす所存でございます。

皆様方には何かとご迷惑をお掛けするかと思いますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「会計に任命されて」

次期会計 L笹畑 孝生



二〇〇八年七月二日より四十周年の会計に任命され身の引締まる思いです。

「奉仕と友愛で築こう 未来につながる豊かな環境」が四十周年のクラブスローガンです。クラブスローガンに友愛とあるように会員の皆様のご指導ご意見を聞きながら会計の責務を果たしていく所存です。又、会長を補佐し、三三四複合地区スローガン「温故知新」の精神を大切にクラブの伝統を重んじ、革新にも目を向け、富山神通ライオンズクラブが未来につながる素晴らしいクラブであると確信しております。会員の皆様の協力なしには会計としての職責が果たせません。

今後とも暖かく見守って頂きたくお願い申し上げます。

新入会員 挨拶

L津島 延吉

私も、M.V代りは今年で六年目という、まだまだ業界にも馴染の薄い会社ではございますが、人と人の繋がりによる伝統ある神通LCに入会が許されたことは身に余る光栄と感激しているところで御座います。

このLCの歴史とライオニスムに恥じないよう、鋭意努力して参る所存で御座いますので、皆様ご指導ご鞭撻下さいませよう宜しくお願い申し上げます。

L泉 茂

今回、L宮崎さんから富山神通ライオンズクラブ入会のお誘いを受け、歴史ある神通ライオンズクラブに私の様な者が入会してもいいものか随分迷いましたが思い切って入会致しました。

入会式を終え何度か例会に参加してみても、いろんな人の出会いに触れ交流を深められた事は神通ライオンズクラブの素晴らしい事とおもいました。

L松原 孝行

目的があり、スローガン・モットー・誓いに道徳要領を定められている、当ライオンズクラブ。ゆっくりと何度か読み返すと、とても素晴らしい事だと気付きます。

あ：そうか、だから富山神通LCがあるんだと、気づきました。物量の資本主義社会のなかでは、大変に難しいような気もしますが、未来の子孫やことも達が、幸せに暮らしてゆけるような、相互理解のできる精神社会に、なるように一人一人がライオンであることを誇れるように努力したいと思います。

「一年間の活動を終えて」

出席委員長 L大浦 和子

「例会出席こそ奉仕の始まり」と思っているながらも、一年を終えて、出席委員長の役割を果たしていないことに大変反省しております。

人は人によって成長し人格を高められます。富山神通ライオンズクラブには、無数の先人のお手本があります。今後の自分はどうあるべきか深く思い巡らす時もあります。これからは、ウイ・サーブの精神で奉仕を続けていきたいと思っております。皆様一年ありがとうございました。

神通ライオンズクラブ 例会出席状況(2008年1月~6月)

日	会員数	出席者	出席率	内容
1月10日	92名	68名	74%	新年会(金茶寮)
1月17日	92名	64名	70%	例会
2月7日	91名	62名	68%	例会
2月21日	91名	60名	66%	例会
3月6日	90名	70名	78%	例会
3月16日	90名	37名	41%	献血運動・ファボーレ(全員アクティビティ)
3月21日	91名	59名	65%	例会
4月3日	91名	71名	78%	花見例会(金茶寮)
4月17日	91名	69名	76%	例会
5月8日	91名	65名	71%	CN39周年記念例会
5月15日	93名	63名	68%	例会
6月5日	93名	62名	67%	例会
6月23日	93名	69名	74%	年次例会(よし原)

出席委員長 L大浦和子

編集後記

PR会報委員長 L白川 明吉

今年度CN40周年事業として、スローガンにもある環境問題として、特に地球温暖化に関して早急な対策が必要とされている深刻な問題です。その二酸化炭素を抑制するには、私達ひとりひとりが身近な地域に目を向け、緑豊かな自然環境を育成保存していくことが重要ですのでCN40周年事業に取り込みたいと思います。

